

藤原総合文化会館検討専門部会会議録

| | | | |
|---|--------------------------|---|-----------|
| 件名 | 第5回藤原総合文化会館検討専門部会 | | |
| 日時 | 令和2年1月23日(木) 15:00~16:05 | 作成日 | 令和2年1月27日 |
| 場所 | 藤原行政センター2階会議室 | 記録者 | 資産経営課 星 |
| 出席者 | | | |
| <日光市> 上中副市長 安西財務部長 小林資産経営課長 星公共施設マネジメント係長 資産経営課公共施設マネジメント係職員 | | <専門部会メンバー> (出席部会員、アドバイザー名簿別紙) (敬称略) | |
| 議事内容 | | | |
| <p>■配布資料 第5回藤原総合文化会館検討専門部会 次第、会議資料、部会委員名簿、第4回会議議事録</p> <p>■議事録</p> <p>1. 開会 安西財務部長</p> <p>2. 部会長あいさつ</p> <p>皆さんこんにちは。本日は第5回の藤原総合文化会館検討専門部会にご出席いただきありがとうございます。前回は意向調査ということで皆さんの意見を聞きまして、その結果について報告させていただきました。本日の議題は、「会議の進め方について」、「藤原総合文化会館の跡地利活用にかかる提案内容について」ということで進めさせていただきますのでよろしくお願いします。</p> <p>3. 説明事項</p> <p>部会長</p> <p>それでは、部会長として議長を務めさせていただきますが、まず現在出席をいただいております部会員の数は、11名で、定足数に達しており会議は成立いたします。</p> <p>議事に入る前に、本日、傍聴の申出がありましたので、これを許可したいと思います。意見はございますか。</p> <p>～「異議なし」の声あり～</p> <p>ありがとうございます。それでは傍聴を認めたいと思います。</p> <p>部会長</p> <p>それでは、これより会議次第に基づき説明事項に入ります。(1)今後の会議の進め方について事務局より説明願います。</p> <p>事務局</p> <p>まず、今後の会議の進め方についてですが、資料の説明させていただく前に、前回の会議を振り返らせていただきたいと思います。お手数ですが、前回の資料をお持ちの方は、前回の資料1をご覧ください。これは、皆さまがそれぞれの団体等からのご意見を意向調査という形でまとめたものです。前回の会議の中で1番目と2番目、つまり、藤原総合文化会館は、新たな施設の方向性が見えるまでは廃止も解体もしないが、耐震性の低さから今年度いっぱい休止するという、さらには、観光情報センターの機能を駅前に残すことを前提に今後の議論を進めるということを確認させていただきました。</p> <p>今回の会議は、3番目、つまり藤原総合文化会館を廃止した場合、その跡地の利活用について検討し</p> | | | |

議事内容

ていくこととなります。しかし、前回の資料をご覧いただきますとお分かりのとおり、非常に多種多様なご意見をたくさんいただいております、その一つひとつについて検討し、全体的に整理することは、時間的にも作業的にも正直難しいと考えております。

そこで、今回の資料、1ページをご覧ください。

皆さまからのご意見を今後どのように整理し、検討していくのか、まずは、この点についてご議論いただきたいと思います。

1から4まで順番に記載がありますが、1－皆さまからいただいたご意見を提案内容としてある程度大括りにまとめ、課題などを検討したうえで、2－方向性を絞り込んだ後、3－具体的な内容や規模等を詳細に検討し、4－最後に提言としてまとめていきたいと考えています。なお、資料としてご用意はしておりませんが、大まかなスケジュールとして、皆さまとの議論を優先しながら、目標として年度内に提言できるよう会議を進めていきたいと考えておりますが、一つひとつ絞り込んでいく形で一旦広く広げた風呂敷を少しずつ幅を狭めながら皆さんのご意見を聞きながら方向性を定めていきたい、詳細な中身について決めていきたいという風に考えているところです。

その上で、本日の会議では、2番目の提案内容の絞り込み、つまり、皆さまからのご提案について、ある程度の方向性を定めるところまでご協議いただきたいと思いますと考えております。

よろしく願いいたします。

部会長

ただいまの説明内容につきまして、ご意見等がございましたらお願いいたします。

部会員①

年度末という話があったが、3月末を目途にということによろしいですか。

事務局

一応目標として、日光総合会館と並行して始まって、日光の方は既に提言書が出てサウンディングが始まっているという状況の中で、藤原の会館につきましても、3月末を目標に、そこまでに議論がうまくまとまらないとか提言書として中々うまくまとまらないということであれば少しづれこんでも仕方がないかなとは思っていますが、目標としては3月末までには形にしたいというのが事務局としての目標ということになります。

部会員①

事務局で説明があったように今回は2番目の議題について重点的に時間を取りたいということであったが、1番から入ってってというところなんです。

事務局

正しくその通りでございます。2番目の絞り込みをするにあたっては、当然1点目の検討のところで、皆さんから出た意見を大括りにさせていただきましたので、括り方ですとかそれぞれの課題、さらにはそれに対する市の考え方についても整理しましたので、あと資料をあらかじめご覧いただいた方はお分かりだと思いますが、検討にあたっての前提条件なんかも整理させていただきましたので、その辺も含みで絞り込みまでという考え方でお願いしたいと考えています。

部会員①

わかりました。事前に資料をいただきましたので、大きく4つに分けてだいたいボリュームがあるものを我々委員にもわかりやすく整理していただいておりますので、議長、今後進めるにあたって大切な話なので部会の皆様がこの4項目について、1点1点この方向でいかという確認を取りながら進めていただければと思う。

議事内容**部会長**

わかりました。そのように進めさせていただきます。ほかにございますか。アドバイザーの先生からは何かございますか。ないようでございますので、以上で会議の進め方については終了いたします。

続きまして、(2) 藤原総合文化会館の跡地利活用にかかる提案内容について事務局より説明をお願いします。

事務局

それでは説明をさせていただきます。先ほど部会員①からも1点1点という話がありましたので、説明の中で区切りをつけながらお話をしたいと思えます。まず、提案内容の検討に当たり、前提といえますか、基本となる事項をお話させていただきます。

3ページをお開きください。

これまでもお話させていただきましたが、藤原総合文化会館解体後の施設については、市の財政状況等に鑑みれば、直営で実施することは困難であることから、行政のコントロールの元、民間の資金、アイデア、ノウハウ等を活用する公民連携の手法が不可欠であると考えているところです。なお、公民連携のメリット等については、2ページにお示ししたとおりとなっております。3ページにお戻りいただきまして、上から三つ目になりますが、民間企業に参入してもらうためには、当然に民間企業側にもメリットが必要となります。つまり、収益性のある施設を併設することが前提となってきます。

さらに、検討に当たっては、将来世代に負担を残さず、時代の変化に対応できること、民業圧迫など地域に悪影響を与えないという視点も不可欠であると考えております。

4ページをお開きください。

皆様からご提案のあったご意見を大括りで整理させていただきました。

大きく公共施設と収益施設に区分したうえで、公共施設は、ホール、つまり、市民活動発表の場、2つ目が美術館等、3つ目がフリースペースとなっております。収益施設は、テナント・商業施設として1つ目、物産施設とありますが、物販施設の誤りです。申し訳ありませんが、ご訂正ください。そして2つ目が飲食施設、3つ目が物販と飲食の複合施設に分類し、さらに宿泊施設に区分いたしました。

ここまでの説明が提案内容を検討していただくための前提となります。

これらのことを踏まえ、大括りにした提案内容一つひとつに対して、今後引き続き検討をしていくものを絞り込んでいきたいと思えます。

5ページをお開きください。

まずは、具体的にどのように絞り込んでいくのかお話しさせていただきます。

提案内容に対して考える課題を踏まえ、市としての考え方を整理させていただきました。これを踏まえ、提案内容の一つひとつについて方向性をまとめていきたいと考えております。

それでは、公共施設の1つ目、ホール、市民活動発表の場ですが、こちらは具体的な提案としては、多目的ホール、生涯学習機能、音楽堂などとなっております。整備する場合の課題は、コスト、採算性、利用率などとなっております。市としては、ホールのようなハコモノについては、イニシャル、ランニングともにコストが非常に高く、採算性にも期待ができない中、財政面や利用率などの面からも将来への負担を残す可能性が高いことから市として整備することは困難であると判断しています。ただ、市民活動を発表する場としてのステージ機能の確保という観点で見れば、公民連携などの手法等を検討することにより整備することも可能ではないかと考えているところです。

次に、美術館等ですが、こちらの具体的な提案は、美術館のほか、スタジオジブリなどテーマパーク的なミュージアム、歴史資料館などとなっております。課題は、先ほどのホールと同様のものが考えられ、市として整備することは困難であると判断しています。加えて、全国的に見ても採算性が低く、民間事業者の参入にも期待ができないことから整備することは、非常に困難なのではないかと捉えているところです。

公共施設の3点目、フリースペースですが、こちらは親子で遊べるような全天候型の施設、囲碁・将棋、休憩・待ち合わせ場所など多種多様なご提案をいただいたところです。大きく屋外型と屋内型のご意見がございましたが、市としては、屋外型については、課題として、採算性と雨天時への対応が想定されるものの、駅前広場との一体的な活用を図ることができ、かつ、収益施設との複合化なども併せて検討できるものと捉えています。なお、屋内施設、ハコモノについては、ホールと同様、整備内容に応じた手法等を検討することにより可能になるのではないかと捉えています。

6ページをお開きください。

議事内容

次に収益施設ですが、1つ目の物販施設につきましては、地元名産店や県内の物産、伝統工芸品のアンテナショップなどとなっています。収益性、採算性があり、民間の参入が期待できるものの、地域の既存店舗等の営業を圧迫する可能性が高いことから、市としては、積極的に導入すべきものではないと考えています。

一方で、次の飲食施設については、当該地域に飲食施設が少ないという意見もあることから検討の対象としてよいのではないかと捉えています。

さらに3点目の物販、飲食の複合施設についても物販による地域の民業圧迫リスクが抑えられることが想定されることから、引き続き検討の対象としてよいのではないかと考えています。

最後の宿泊施設ですが、ほかの施設に比べて高い収益性が期待できるものではありませんが、藤原地域の特性を考慮すれば、既存の宿泊施設の営業を圧迫することが明らかであることに加え、強い反対意見もあることから、市としても整備の対象から外して考えるべきと捉えています。

提案内容それぞれの方向性について、市の考え方を申し上げますと、公共施設については、ホール、市民活動発表の場とフリースペースの2点、収益施設については、飲食施設と複合施設の2点に絞り込んで、今後詳細に検討していってはどうかと考えているところです。

皆さまには、市の考え方等を踏まえ、一つひとつご議論いただきたいと思えます。

以上、よろしく願いいたします。

部会員②

駅前前の商店の代表としてきているが、おっしゃる通り商業施設に関しましては、圧迫がされる。圧迫がされてどうすればいいか。我々が判断したのは、今以上にお客を集めれば圧迫にはならないのではないかとこの考えになりました。そのもとで物販施設の設置についてはやむを得ないという判断をいたしました。それでは今この駅前に来ているお客さんを増やすにはどうしたらいいか、それに対して私たちが出したのはテナントの中で利き酒コーナーとか地ビール工場の誘致、あと1つここで抜けているが、日帰り温泉施設の誘致だと思う。そういう風に今まで電車で降りた人が駅前に来るのは当たり前で、そこに車で来ていただくような手法を考えていただきたい。そうしていただければ物販施設はやむなしと考えてはいます。

部会員①

事業手法のところ、アドバイザーの先生に聞きたいのですが、公民連携についていろんなところで取り組まれているようですが、それぞれの行政で市民に負担なく、迷惑もかからず、しかもなおかつ行政のコントロールが利きながらという感じでうまくやっているものなのか。

山本アドバイザー

結構やっている。相当あちこちでやっています。逆に今は民間の提案に関して、公共がそれをやらしてくれという逆のほうでどんどん進んでいる。かなりの数をやっている。

西尾アドバイザー

今回かなり絞り込んでいこうという議論になっていますけれども、それはそれで大事なんですが、一方で民間からどんな提案が来るのかそれによってすごくやれることが広がるという可能性がありますので、民間からの提案をどれだけ生かしていけるかという観点も重要なかなと感じています。

部会員①

トラブルみたいなものはあるのか。

山本アドバイザー

ないこともない。トラブルというよりもあまり効果が出ないというのがあります。民間がこういう風に提案したけどそれほどではなかったということもあります。でも大体は来てもらってよかったという話が多い。うずもれていてわからないものもあるかもしれませんが。

部会員③

1点くどい様で申し訳ないが、観光情報センターについて駅前に確保していただけるということで、前回の第4回の会議の確認事項ということで最初に事務局からご説明がありましたが、方向性が

議事内容

決まった中では、駅前に、今の場所にといいことでよろしいのか。

事務局

会館については廃止解体せず、休止しましょうという中で、跡地利用をどういう風にしましょうというまでは、当然今の情報センターは今のまま使っていただく形で考えております。今後全体的にどうするのかといったときに観光情報センターは駅前に機能として残すけれども、新しく作る施設の中に入れるとか、建屋を今のまま残すとかはこの後の議論かなと思ってはおりますが、当面その方向性が出て、整備をするというまでは、今の現状のまま使っていきたいと考えているところです。

部会員①

議長、出だしが大切である。部会の皆さんがそれでOKなのかどうか確認を取っていただいて、次に進んだほうがよろしいのかなと思うのですが。

部会長

先ほど事務局から報告がありましたが、その件について特に5ページの部分について、ホールを作るのは難しいという中で、ホール機能を残しつつフリースペースをとというようなことでありましたが。

部会員①

特に3ページ目のこの考え方をベースとして公民連携でいいですかというところ。我々は民業圧迫など地域に悪影響を与えることがないという視点、それは絶対に外していただきたいという視点。

部会長

ただいま部会員①からお話があった民業圧迫にならないような形というところなどはぜひ残していただきたいと思っております。その辺については、事務局の方でいかがですか。

事務局

具体的に公共的施設、収益施設の議論に入ります前に、資料として一体となっていますが、公民連携と市の前提条件について、部会の中でオーソライズして皆さんの確認が取れてから、公共的施設と収益施設の検討をしましょうということという理解をしたのですが、それでよろしいでしょうか。

部会員①

そういうことです。その方が進みやすいのかなと。

事務局

市としましては、3ページの上3つは公民連携の話、下2つの点は、検討にあたってはやはり外せない視点なのかなというところで、強く残したいという思いもありまして入れさせていただきましたので、ぜひ皆様にもこういった視点をもって公共的施設、収益的施設の絞り込みの検討についてご理解をいただくとありがたいと思います。

部会員①

そういうことであれば、旅館協同組合としては公民連携もありではないかなと思います。

部会長

これまでのところはよろしいでしょうか。アドバイザーの先生から何かございますでしょうか。

山本アドバイザー

この基本的な原則は、やっぱり皆さんで了解を取って進めた方がいいと思いますし、公民連携については先ほど話したように、あちこちで事例が出ていますので、完全に民間に渡してしまうと、4番目、5番目が危なくなってしまう可能性がある。

議事内容**部会員①**

時間があれば自分でも見たいと思うが、一番成功しているところはどこか。ここは見てみた方がいいというところがあれば。

山本アドバイザー

ここでしていい話かどうかかわからないが、沼津の公園で宿泊施設にもなっていて、結構荒れた公園が、丸い空間でテントみたいなやつで結構な金額を取りながら、超満員になってて、集客を兼ねていますし、いろんな事例が出ている。

西尾アドバイザー

ご指摘の点というのは、直営の可能性がないかということなのかなというところなんですけれども、やはりどうしても財政状況でいうと、直営の場合できる範囲というのが狭まってきてしまって、藤原のこれからのまちづくりという観点では、公民連携でやっていくという前提で考えていくというのは妥当な判断ではないかなと思います。心配の点に関しては、契約の仕方によってもかなり縛っていきことができると思いますので、その中で公民連携を前提としながらもその中でやり方についてはここで皆さんが心配されているような視点がきちんと担保できるように工夫していくという考え方でやっていくのがいいのかなと思います。

事務局

事例ということで、規模感が違うので参考になるかなんとも言えない部分があるが、熱海駅でJRとの公民連携で駅ビルというか飲食物販の施設を整備して今結構流行っている。たまたまではあるが、当課の職員が行ったら相当すごいことになっていたということだったので、もしネットで検索されるのであれば参考にしていただけるとありがたいかなと思います。

部会長

ほかにありますか。なければ次に入りたいと思いますが。

事務局

前提条件のところと全体的に私の方から市の考え方として公共的施設、収益的施設について少しお話をさせていただきましたが、まだ30分しか経っておりませんし、可能であれば公共的施設、収益的施設の一つひとつにつきまして、皆様の方から方向性、市の方向性と同じでいいということであればそれはそれで結構でございますが、一つひとつについてご議論いただいて、○×という表現がよいのかはわかりませんが、ここは市と同じように今後の検討を続けていきましょう、今後の検討はせずに今回切り落としましょうというのをご議論いただくと助かりますので、5ページのホール（市民活動発表の場）というところから、右側の方向性について一つひとつご検討いただくと市としては非常に助かりますので、お時間かかって申し訳ありませんがよろしくお願ひいたします。

部会員②

そういうことでしたら駅前の商店会からのご意見としてお願いしたいのですが、駅前ではさくらまつりとかいろんなイベントをさせていただいておりますが、いかんせん雨ということで非常に悩まされているところです。ホールについては欲しいのは山々ですが、少なくとも駅前にいいステージがありますので、あそこを野外ステージのような屋根をかけていただければ、そういう方向でホールはいかなという考え方をさせていただけないかなとご意見としてさせていただきます。

部会員①

大枠から入らせてもらっているが、提案内容はそれぞれ、何回か会議を重ねて委員の皆さんから意見をいただいたのですが、この藤原地域の検討委員会は、大きく2つくらいに皆さんの要望が分かれていると思う。まずは1つ目市民活動発表の場というのかな、暮らす人にとって利用できたり、また将来に負担を残さない、住んでもらえる機能を残してもらいたい、それが1つだと思う。その上で、公民連携を含めながら収益性を確保するための、観光というのか、観光客に向けた施設、その2つなんだと思う。だから、観光だけになってもダメだし、その2つの軸だけは我々はぶれないでもらいたい。我々は観光業ですが、暮らす人の活動の発表の場、そういうものが絶対必要なんだと思う。駅前

議事内容

の一等地であるからこそ。

部会員④

文化協会ですが、いま部会員①がおっしゃったとおり、文化協会としましてはやはり文化と伝統と芸能の発表の場というのを確保していただきたい。採算が取れないのは十分わかっているが、従来からやってきたものを将来に引き継いでいく場として確保していただきたいと思います。

部会員⑤

付け足しで、例えば郷土の芸能があれば、観光客に見せるとか、土日はそういうものを行っているとか、私たち地元の市民だけではなくて、観光客に見てもらえるようなものがあつたらいいなと思うのと、フリースペースと一緒に考えて今座席が出し入れできるものがある。普通は平らでお客さんが来る時だけ椅子が自動的に出てくるみたいなホールもあるので、そんな風にすると両方に使えるのかなど。フリースペースにも使えるし、ホールにも使える。そんなことを工夫していただけると、先ほどのホールとフリースペースという2つのものを兼ねてできると利用も高まるのかなと考えています。

部会員④

ちなみに文化協会としましては30日に今市にありますニコニコ本陣のステージを見学しようということで計画をしている。250から300というスペースなのでちょうど見学するのによろしいかなと思って計画はしています。

事務局

今ご意見いただきましたところにつきまして少しお話をさせていただきたいと思います。部会員①の方からお話のありました暮らす人のためということと観光のための視点と、これは今後の検討にあたってそこを軸にどう考えていくのかということと皆さんも共通の認識ということで事務局としても捉えさせていただきたいと思います。今お二方からも話がありましたけれどもじゃあ具体的にどういったものを整備していくのかという話は次回以降少しお話をさせていただきたいと思いますが、基本的な考え方として先ほど少し市の考え方もお話させていただきましたけれども、市が直接ホールなり何なりを整備するというのは財源的にも非常に難しいというのはご理解いただいているところだと思います。そういった中で公民連携を手法とするということは、当然民間企業にとって収益性があってメリットがあって、その中でどういう風な公共的施設が整備できるのかとなっていくのかなど、要するにすごく立派なものを作りたいんだけど、それだと中々収益性が難しいということになるとそのバランスというのが非常に難しくなってくるのかなというのも正直な話持っているところがございます。駅前でどういう収益性を確保して、その収益性の中でどういう駅前の活用、言い換えますと例えば市民活動発表の場ですとか、フリースペースというのをあそこの土地だけにするのか、それとも駅前広場と一体的に考えながらやっていくのか、具体的には次回以降、資料を少し検討させていただきますので、お話をさせていただきたいと思いますが、中々正直ハコモノをドンと作るの難しいかなというのは今の市の考え方でございます。民間で作っていただけるということであればいいですが、中々そこまで行けるかどうかというのはちょっと微妙なところかなと思っております。ただ、今のお話をお伺いしますとホール・市民活動発表の場とフリースペースというものにつきましては引き続き検討していきましようというようなニュアンスでつかまさせていただきました。

部会員①

美術館は我々も財政的なことを考えると難しいということで結構でございます。

部会長

要望としては本来ホールというのが希望だとは思いますが、中々やはり市としては難しいというようなことですね。

部会員①

部会員⑤とか部会員④とかより使う人たち、先ほどいいなと思ったのは観光客の人が参加できるような展開も開けるし、あきらめないで意見が一致するところを、対立するところはもう除外でいいと

議事内容

思うんですよ、そこをよりよくみんなで話していければいいのではないかと思います。

部会長

どこか民間でホールを作りたいというところがあればいいということですね。

部会員①

ステージの一体化というのも可能性が出てくるのでは。発表の場があって、雨風がしのげればということですよ。可能性は広がるのではないかと。今のステージを壊していいのかということにはなるが。そういうのも可能なわけですよ、公民連携で行けば。

部会員②

どこからお金が出るのかを考えちゃうと難しいのかなと。

部会員①

自分たちの世代はあきらめてはダメなんですよ。

部会長

ほかにございますか。

部会員①

一つひとつ確認を取っていった方がいいのでは。ホールとフリースペースでいいかというところで。

部会長

希望としてはホールの方はよろしいですかね。発表の場という意味で。美術館についてはどうでしょうか。

部会員①

旅館組合はあきらめます。

部会員④

私も公民館活動の絵画サークルに入って活動しているわけなんです、周りの美術館とか那須の方にある、日光にもある、そういったものを見るとバブルの絶頂期のころからはかなり右肩下がりで来てるんじゃないかと思います。ここであえて作っても、いい結果が出るという見込みがあれば、作ることに越したことはないが、現況を見ていると中々採算は取れそうにないと思いますので、地元を超有名な芸術家がいるということであれば作る必要性もあるかもしれないが、今の段階ではやはり控えた方がいいのではないかと思います。

部会長

よろしいでしょうか。皆さん美術館の方はちょっと難しいのではないかという意見でありますので、そういう方向性でよろしいでしょうか。

～「はい」という声あり～

部会長

続きまして、フリースペースに関してはいかがでしょうか。

部会員①

行政の方で可能という判断ができるのであれば、残す方向で検討していただきたいなと思います。

部会員②

ホールの方の意見の中でも2～300ということで、それもあわせてフリースペースも併せてとい

議事内容

うことで賛成です。ただ、それだとあの敷地の一部になろうかと思imasるので、テナント商業施設を組み込むような考え方はいかがかなと思imas。

部会員①

発表の場だけでなく展示でも必要なことってあるんですよね。

部会員④

野外ではなくハコモノの中という考えでおります。

部会長

フリースペースについては要望していくということでよいか。

～「はい」という声あり～

部会長

事務局の方ではよろしいですか。フリースペースは要望するというこゝで。

事務局

ホール、フリースペースについては市の方からも先ほど公共的施設については残せばこの2つかなというお話をさせていただきましたので、皆様と方向性は同じかなと思っております。部会員②からお話のありましたフリースペースのところで、例えば収益施設というのは今後の議論の中でそこに入れ込んでいく形にするのか、どういった形で整理していくかというのは一旦この中でも決めつつ、公民連携で入っていただく民間事業者とのサウンディングでどういった絵が描けるかということにもよってくるのかなと思imasるので、ご意見の一つとして整理させていただきたい。なお、フリースペースにつきましては、ベースを屋外にするのか、屋内にするのか、その辺も議論としては出てくるのかなという風には思うが、公民連携という手法で収益性を考えたときに屋内が難しければ屋外をうまく使いながら例えば仮に展示がどうできるのかというのも今後の検討ということになろうかと思imas。

部会長

ほかにございますか。それでは6ページのところを確認したいと思imas。先ほど説明のありましたテナント・商業施設、物販施設、そういったところはいかがでしょう。

部会員①

最初の大枠のところに戻るが、民業圧迫など地域に悪影響を与えることがない施設であればというところなんだと思うので、ビジネスホテルは賛成の人がいたとしても我々は永久に反対という話なので、削ぎ落してもらった方がいいのかなと思imasますが、ビジネスホテルは反対ということによろしいですか。

部会長

ビジネスホテルは反対するというこゝで、商業施設についてはどんなものが来るのかということが当然ありますけれども、宿泊施設のほかにこれは絶対ダメというものはありますか。

部会員③

一番上の部分に関してもやはり、私たちは宿泊業なのでビジネスホテル反対なんですが、物販だけという部分に関してはやはり駅前商店街で売店だけしかやってないお店もあると思うので、個人的には一番上は×でいいのかなと思imas。飲食スペースは色々お客様からも問い合わせがあるが、お昼を食べるところが少ないということもあるので、飲食施設と下から2番目の飲食と物販とを複合という部分に関してはありかなと思imas。テイクアウトも含めてオリジナルの商品とかもあるでしょうからほかの売店とかぶらない商品もあると思うので、これはありなのかなと思imas。

部会長

議事内容

1 番上にある栃木県の物産、伝統工芸品という部分についてはどうでしょうか。

部会員②

駅前商店の中の意見としては、同じものを売らないでほしいということがあるので、そうでなければ、もちろん県の物産、例えば益子焼を置いてみたらどうかとかそういう話がありました。そういうものであれば大歓迎で、同じものを売らない、食べさせないという前提で入れていただけるとありがたい。

部会長

特にこれはダメだというものは他にありますか。

部会員②

駅前の問題点で、昼食を食べるところが少ないというのはあくまで休みの日で、平日は普通に回っている状況ですが、もっと困っているのが夕方食べるところが全くない。やっていただく場合には夕方方も開いているようなところをお願いしたいと思います。

部会員①

大枠はこれとこれはダメということを決めてもらって、2 回目のサウンディングが今後かかるのであれば、民間の事業者の方がどういったことで収益を確保するか、そこは私も見てみたいと思いますし、その後我々にも議論する場を与えていただければありがたいと思います。

部会長

ビジネスホテルのほかにこれはダメだというものはありますか。同じものは売らないようにという意見はあった。

部会員④

先ほど熱海の駅前の話があったが、周りの商店会とかぶるようなものはないものなのでしょうか。周りとのバランスはどうなのか。

事務局

行って見ているわけではないので聞きかじりの話で大変恐縮ですが、地元の業者でそのテナントビルに入り込んでいるお店もあるという話を聞いている。そこはやり方になると思う。確か3階建てくらいの建屋だったかと思うが、あとでホームページ等を見ていただくとわかるかと思いますが、先ほど規模感が違うのでという話を差し上げましたけれども相当立派なものとなっています。一度ご覧になっていただけるといいかと思います。地域との協働という意味では、地元の方と一緒にやっているというようなところもあると聞いています。

部会員②

実は駅前商店会は熱海を視察に行きました。町内会も一緒になって行ってきました。見た感じ確かに物販品については皆さん中に入り込んで、そこに銀座通りというのがあるが、そこでは熱海独自の干物とかかまぼことかそういう専門店がずらーっという感じになっていて共存共栄している。もう1つ驚いたのは、先ほど言った、駅なのにバスがいっぱい来ている。電車じゃなくてマイカーやバスがいっぱい集まってくるような施設になっていて、今までは駅に来る人だけだったんだけど、バスや車の人が集まるような施設展開をされているので、非常にいい感じにできている。

部会長

ありがとうございます。テナントビルを作っていただいて、そこに入っていただいて回遊性をということですね。ほかにございますか。ないようですので、事務局の方でどうですか。

事務局

飲食・物販のところで少し整理をさせていただきたい。考え方としては、駅前で既存で売っているものと同じようなものは売らないでほしいということと、特に夕方食べるところがないので可能であ

議事内容

ればというお話もいただきましたので、大括りの整理の仕方とすれば、飲食施設を考えつつ、ものによっては物販施設も併存することで検討を進めていきたいと思います。物販だけだとさすがにちょっと厳しいのかなという考え方でよろしいですか。今後の資料の作り方として、飲食も物販も考えるけれども、飲食に軸足を置きつつ物販も併せて考えていくというようなところでよろしいですか。

部会員①

2番目、3番目の考え方で私は理解しております。

部会員②

集客ができるような施設を検討していただきたい。ここで例に出ている地ビールとか地酒とかそういったものも検討していただきたい。

部会長

ほかにございますか。事務局の方でどうですか。

事務局

理解いたしました。例えば地ビールですとか温泉とか具体的な施設についてはこの後また絞り込んだものを、大括りにしたものを細分化して具体的な検討がしていければという風に思っておりますので、資料の作り込みについては今少し悩んでいるところですが、次回以降検討させていただきたいと思っております。ありがとうございます。

部会長

アドバイザーの先生方何かございますか。

山本アドバイザー

熱海について若干話をしたい。熱海の奇跡といわれる本が出ているくらいで相当すごい復活をされた。ものすごいさびれた状態から。その辺は市役所、民間の方が一緒になって成功して参考になると思う。ついに私が面倒見ている学生も熱海市役所にどうしても行きたいと言って、今年から市役所に勤めることになった。それくらい人気が出てきていて地価も上がっている。それを考えると今回を機にどういう提案になるかわかりませんが、これをてこにこの地域をさらにもっとやっつけていければと思う。

西尾アドバイザー

今回かなり絞り込んでいくということで議論していますけれども、施設全体でどう相乗効果を得ていくかという観点が必要だと思います。ご指摘があったように、地元の人を使うし、観光客も使う。これは両方が交流することによってより価値が上がるという使い方もあると思います。ホールなどの機能というのはどうしても単独で見ると厳しいよという話になりますけれども、施設全体で収益部門で収益を上げながらうまく相乗効果を出してホールを維持していくという考え方も出てくると思いますので、そういったところは個々でどうしていくかと考え方だけじゃなくて施設全体をどうトータルでコーディネートしていくか。さらに言えば施設だけではなくて、施設に呼んだお客さんがどう地域に展開していくか、地域全体の展開の仕方とか、駅前がどう一体的に対応するかという話もありましたけれども、そういった観点も今後必要になってくると思いますので、それはどちらかということやサウンディングのような形で民間からいろんな提案を集めながらアイデアを膨らましていくということも大事だと思いますので、今回ビジネスホテルとかこういうものはバツだよということでもいいと思いますが、そのほかどちらかということやバツを決めるというよりは優先順位を決めて、どうしてもこうしたいという要望とか、どうしてもこれだけは困るというようなことをここではまとめておいて、それを民間のサウンディングをしたときに、どう判断して提案してくるか。民間からの提案を基にしながらより発想を膨らましていくという進め方も大事かなと思います。

部会長

ありがとうございます。それでは、4のその他に入ります。事務局からございますか。

議事内容**事務局**

次回の会議のご案内になります。第6回の専門部会ですが、3月2日（月）午後3時からこの会場で行いたいと考えておりますので、ご予定のほどよろしくお願ひしたいと思ひます。

安西財務部長

これもちまして、第5回藤原総合文化会館検討専門部会を終了させていただきます。ありがとうございました。

16:05 閉会